

働くニホーン

田中 隆雄

千葉県木更津市。太陽電池が大躍進を遂げ、可能性を秘めた、シリコン原料の生産拠点があふれる。二〇〇七年に創業したソーラーシリコンテクノロジの新社長だ。創業社長の手塚博文(60)は、京セラで大陽電池技術者として約二十二年間勤め取給後に、退職後も太陽電池を世界に普及させるべく、一〇〇年には年産三千トンの生産を断ち切れず、「生産元を」として新製法に挑む決心をした。

フロンティアを求めて

「十億円です」。工場用地を求めて最初に足運んできた。手塚を驚かす。手塚は「思いがけないからだ」。熱く語り、手塚を驚かす。手塚は「思いがけないからだ」。熱く語り、手塚を驚かす。手塚は「思いがけないからだ」。熱く語り、手塚を驚かす。

第10部 今変えなければ

う。九十人いる従業員は、増産時に二百五十人まで増やす計画だ。

環境関連で60万人。環境省の試算では太陽光発電などの自然エネルギーがある。三百万人を割り込



「夢を実現したい」と語るソーラーシリコンテクノロジの手塚博文社長(千葉県木更津市)

前例打ち破り雇用創出

分野では、二〇二〇年までに約六十万人の雇用を生み出すという。手塚の挑戦もその一翼を担う。起業や新規参入を促し大きなうねり

雇用の協力を得て、四〇の農地を借りた。二十代の若者ら六人が、農家などに野菜や果樹などの栽培を教わりながら農業を営む。

分野では、二〇二〇年までに約六十万人の雇用を生み出すという。手塚の挑戦もその一翼を担う。起業や新規参入を促し大きなうねり

「夢を実現したい」と語るソーラーシリコンテクノロジの手塚博文社長(千葉県木更津市)

人手不足とは無縁の施設もある。はっぴーライフ(東京都武蔵野市)は、通所・訪問介護などまだ拠点はないが、〇八年は採用に三百人超の応募があった。正社員は入社二年目の

「若い人材がもっと来てほしい」と話す社長の辻川

「働くニホーン」取材班

「働くニホーン」取材班